

## ブラジルのテメル大統領、検察から2度目の起訴 ～今後の注目点は財政・予算、大統領選挙へ～

2017年9月29日

### お伝えしたいポイント

- ・ テメル大統領が再び起訴されるも、金融市場は落ち着いた動き
- ・ 社会保障改革法案の成立は遅れるが、財政再建への姿勢は保たれる
- ・ 市場の注目は財政・予算、大統領選挙へ

### <テメル大統領が再び起訴されるも、金融市場は落ち着いた動き>

9月14日（現地、以下同様）、ブラジルの検察当局が司法妨害などの容疑でテメル大統領を最高裁判所に起訴したと報道されました。検察によるテメル大統領の起訴は6月の収賄容疑に続き、2度目となります。

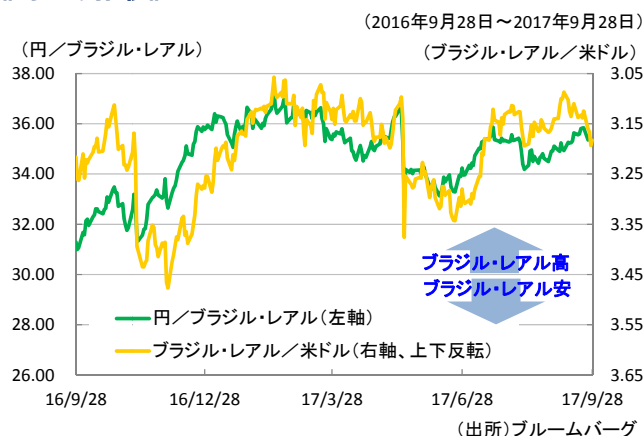
検察による起訴は行われたものの、最高裁が起訴を受理して裁判を開始するには、ブラジル下院議会で3分の2以上の賛成が必要です。下院議会はテメル大統領を支える連立与党が多数を占めており、前回同様、最高裁による起訴の受理は回避される見込みです。

また、汚職への取り締まりを主導してきた検察庁長官のジャーノ氏が9月中旬に任期を終えました。後任はテメル大統領が指名した別の検事となったため、テメル大統領がさらに起訴される可能性は低下したとみられ、政局の混乱はいったん収束に向かう可能性があります。

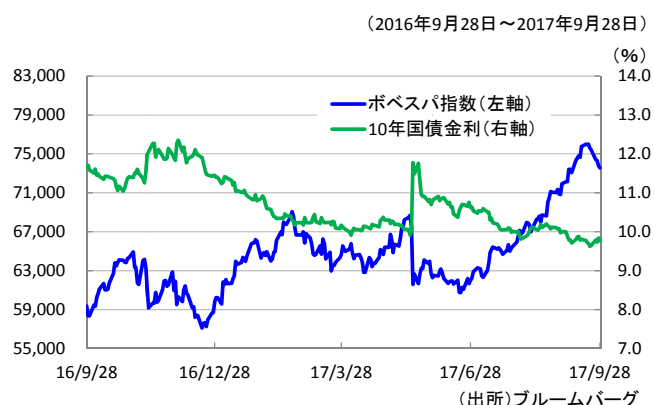
5月にテメル大統領の汚職隠ぺい疑惑が報じられた際には、テメル政権への不信感からブラジル金融市場は全般的に下落しましたが、その後は利下げによる景気への下支えなどもあり、回復傾向にあります。

今回の報道直後の金融市場は、前回の起訴同様に起訴の受理が回避される見込みであることなどにより、為替、株式市場は堅調推移となりました。

### 《為替の推移》



### 《株価指数および国債金利の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <社会保障改革法案の成立は遅れるが、財政再建への姿勢は保たれる>

テメル大統領が進めている構造改革の目玉と考えられる社会保障改革法案の成立は遅れていますが、金融市場への影響は限定的とみています。その背景には、テメル政権が財政再建への姿勢を堅持していることがあって考えています。

2018年10月に大統領選挙を控えるブラジルでは、社会保障改革などの国民にとって痛みを伴う改革が進めにくくなっています。テメル大統領の支持率は歴代大統領の中で最低を記録していますが、テメル政権は連立与党に支持されています。その理由としては、与党議員の間で財政再建の必要性が認識されているためとみられます。テメル政権は、構造改革の優先項目を絞り込むなど見直しを図りつつ、インフラ（社会基盤）事業の民営化や政府系金融機関の貸出金利の適正化など、できる範囲での改革に取り組んでおり、財政再建を進める姿勢を示しています。

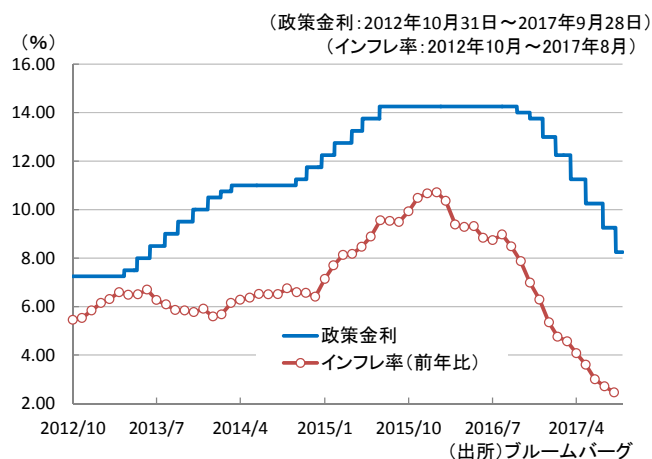
## <市場の注目は財政・予算、大統領選挙へ>

社会保障改革法案の成立が遅れる中、市場の注目はすでに社会保障改革法案からその他の構造改革の進捗や、目先の課題である来年度予算案への取り組みに移っているとみられます。また、テメル大統領の失職の可能性が低下しているため、政局に関しても、テメル大統領の進退から2018年10月に行われる大統領選挙へ注目が移っていくと考えられます。

政府による財政再建への姿勢が今後も維持され、来年度予算案などの課題への取り組みが進めば、ブラジル経済に対する信認が改善し、インフレ率が低下する中での利下げによる景気回復と相まって、ブラジル・レアルは下支えされると期待されます。

以上

### 《政策金利とインフレ率の推移》



※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

## <ご参考> 当社の関連リサーチ

下記のリサーチでは、直近のブラジルに関するテーマやその背景などをお伝えしています。

### ◇マーケットレター

- ・ブラジル金融政策（2017年9月）～利下げ継続も今後はペースを鈍化。喫緊の課題への政府の取り組みに期待。～（2017/9/7）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170907\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170907_1.html)
- ・ブラジル金融政策（2017年7月）～利下げを継続。ブラジルの景気回復と社会保障改革法案の動向に注目。～（2017/7/27）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170727\\_2.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170727_2.html)
- ・ブラジルのテメル大統領の汚職疑惑～政局の混乱を踏まえた財政再建の行方に注目～（2017/6/28）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170628\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170628_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その3～（2017/6/13）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170613\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170613_1.html)
- ・ブラジルの政策金利引き下げについて（2017/6/1）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170606\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170606_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑続報 ～その2～（2017/5/25）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170526\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170526_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑の続報（2017/5/22）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170522\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170522_1.html)
- ・ブラジル大統領の汚職隠ぺい疑惑と今後の注目点（2017/5/19）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170519\\_1.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170519_1.html)
- ・ブラジルの政策金利引き下げと金融市場見通しについて（2017/4/13）  
[http://www.daiwa-am.co.jp/market/html\\_ml/ML20170414\\_3.html](http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20170414_3.html)

### ◇動画

- ・ブラジル株式市場、政局よりも景気や企業業績に注目（2017/6/20）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov57.html>
- ・ブラジルのマクロ経済～構造改革と利下げで経済環境見通しが改善するブラジル経済～（2017/1/16）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov13.html>
- ・ブラジル債券市場～良好な投資環境が続くブラジル債券投資～（2017/1/16）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov14.html>

### ◇Weekly Report

- ・ブラジルの金融市場動向（毎週更新）  
<http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=6>

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

## お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

### 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200%（但し、最低2,700円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等：大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会